

ハマベンケイソウ

ムラサキ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

Mertensia maritima (L.) Gray ssp. *asiatica* Takeda

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が限られており、個体数も極めて少ない。(現況:R-)

形態

茎は倒れて多く分枝し、大きい株を作る。葉は白緑色、毛が無く、長楕円形～広卵形、長さ3～7cm、幅2～5cm。花は鐘型で、蕾のうちは赤紫色だが、開花後、青紫色となり、2～4cmの柄で、ぶら下がって咲く。

国内分布

北海道、本州(日本海側、三陸)。

県内分布

舳倉島・七ツ島植物小区系、外浦区。

生態など

多年草、花期は5～9月。

生育環境

海岸の砂礫地。

危険要因

海岸開発、踏みつけ、園芸採取、産地局限、波浪による浸食。

特記事項

数株程度の生育で、海が荒れた後では波にさらわれて見られなくなることがある。1997年に確認できていた舳倉島では、現在確認できず、外浦区でも2006年以後見られなくなっている。



小野ふみゑ・2006年6月17日・能登

分布図はありません。

県内の分布